



ハシボソガラス

カラス科〈留鳥〉全長 50cm
志木周辺では本種とハシブトガラスの2種のカラスがいるが、ハシブトガラスより数は少ない。柳瀬川の洲で魚の死骸をつついていたりする。お辞儀をするように頭を突き出して「ガー」としわがれ声で鳴く。



ハシブトガラス

カラス科〈留鳥〉全長 57cm
くちばしは太く大きく、おでこがゴリラのように盛り上がっている。「カア、カア!」と大きな声で鳴く。タカやフクロウの仲間を見つけると数羽で協力して追い回す習性がある。住宅地では生ゴミを器用にあさる。



シジュウカラ

シジュウカラ科〈留鳥〉全長 15cm
白と黒の頭、胸にネクタイのような黒い線がある。2月初旬頃から繁殖期になり「ツツピー、ツツピー」とさえずり始める。木の穴や筒状の建造物の隙間などに巣を作る。巣箱もよく利用する。



ヒバリ

ヒバリ科〈留鳥〉全長 17cm
繁殖期には空中でホバリングしながら「ピーチュリ ピーチュリ」などと鳴いて縄張り宣言をする。畑や草地の地面に巣を作り、かつては最も身近な鳥の一種だったが営巣場所の市街地化で激減中。荒川堤外や水谷田んぼで見られる。